

標十五句

松岡隆子選

少しづつ老いに慣れゆく草の花
庭のものの風ごと活けて獺祭忌
から煎りの蒟蒻はねて厄日かな
秋風や声を聞きたく電話する
まんまるの子規忌の梨を剥いてゐる
書きよどむ返書一通つくつくし
乗り換ふる銀河鉄道虫しぐれ
行くほどに水音しづかや稲の花
人思ふしづけさ秋の鳩
大銀杏有らん限りの実を抱へ
足もとに犬寄る釣瓶落しかな
揺れてゐることのやすらぎ秋ざくら
四阿に上着と工具昼の虫
秋暑し暑しと言葉重ねをり
水の秋何処へともなく歩を伸ばす

廣瀬 ハツミ
唐木 和世
川上 昌子
渡辺 あつ子
相馬 晃一
高橋 愛子
佐藤 郭子
中嶋 孝子
平沢 千恵子
田坂 孝志
宮崎 美智子
醍醐 喜美枝
町田 洋子
岡 美穂
小村 絹代